

令和8年度第1回
埼玉県ケアラー支援に関する有識者会議

議題

- 1 ケアラー支援に関する令和7年度の実績について
- 2 ヤングケアラー支援に係る取組について
- 3 第3期埼玉県ケアラー支援計画について

1 ケアラー支援に関する令和7年度の取組 実績について

1 ケアラー支援に関する令和7年度の取組実績について

基本目標1 ケアラーを支えるための広報啓発の推進

【主な取組】

- ケアラー月間（11月）での集中的な啓発等

基本目標2 行政におけるケアラー支援体制の構築

指標① ワンストップ型総合相談窓口等の設置市町村数
（目標値）令和9年4月1日 全市町村

【主な取組】

- アドバイザー派遣、研修・**担当者情報交換会**の実施
- **実践報告書作成**

基本目標3 地域におけるケアラー支援体制の構築

指標② 介護者サロンを設置する市町村数
（目標値）令和9年4月1日 全市町村

【主な取組】

- 介護者サロン設置・運営支援研修

基本目標4 企業におけるケアラー支援体制の構築

指標③ ビジネスケアラーに関するセミナー等受講企業数
（目標値）令和6～8年度の累計 2,000企業

指標④ 地域包括支援センターの認知度（30～50代）
（目標値）令和8年度 70%

【主な取組】

- **仕事と介護の両立事例集の作成、取組チラシ作成**
- 企業の経営者・人事労務担当者向けセミナー

基本目標5 ケアラーを支える人材育成

指標⑤ ケアラー支援を担う人材の育成数
（目標値）6,000人（令和3～8年度の累計）

【主な取組】

- ケアラー支援関係機関向け研修・**医療従事者向け研修**
- 地域福祉活動者向け研修
- 県政出前講座の実施

基本目標6 ヤングケアラー支援体制の構築・強化

指標⑥ ヤングケアラー支援のための教育・福祉合同研修
の受講者数
（目標値）2,000人（令和3～8年度の累計）

指標⑦ こどもの居場所の数
（目標値）令和8年度 800か所以上

【主な取組】

- ヤングケアラー支援のための教育・福祉合同研修
- **大学教職員等向け研修**
- ヤングケアラー・若者ケアラー向けLINE相談の実施
- ヤングケアラー・若者ケアラー向けオンラインサロンの開催
- ヤングケアラー支援スタートブックの活用
- ヤングケアラー授業デザインキットの活用
- こどもの居場所づくりアドバイザーの派遣

・第2期ケアラー支援計画（R6～R8）の6つの基本目標に沿い、各種取組を実施

※赤字はR7新規の取組

1 ケアラー支援に関する令和7年度の取組実績について

計画に関連する事業の実施状況

計画に関連する216事業（再掲による重複を含む）についての自己評価は以下のとおり。

（ ）内は6年度の取組実績

自己評価結果 ※詳細は参考資料参照

「A」 … 取組実績が予定を上回った	33事業（41事業）
「B」 … 取組実績が予定どおりだった	183事業（175事業）
「C」 … 取組実績が予定を下回った	0事業（0事業）

1 ケアラー支援に関する令和7年度の取組実績について

第2期計画の指標達成状況

指標	計画策定時	目標値	実績値
①ワンストップ型総合相談窓口や複合課題を調整するチームの設置市町村数	51市町村 (令和5年4月1日)	全市町村 (令和9年4月1日)	全市町村 (令和8年4月1日)
②介護者サロンを設置する市町村数	55市町村 (令和5年4月1日)	全市町村 (令和9年4月1日)	62市町村 (令和8年4月1日)
③ワーキング（ビジネス）ケアラーに関するセミナー等受講企業数	-	2,000企業 (令和6～8年度累計)	1,174企業 (令和7年度)
④地域包括支援センターの認知度(30～50代)	43.7% (令和5年度)	70.0% (令和8年度)	49.1% (令和7年度)
⑤ケアラー支援を担う人材育成数	3,590人 (令和3～5年度累計)	6,000人 (令和3～8年度累計)	7,107人 (令和3～7年度累計)
⑥ヤングケアラー支援のための教育・福祉合同研修の受講者数	1,078人 (令和3～5年度累計)	2,000人 (令和3～8年度累計)	1,778人 (令和3～7年度累計)
⑦こどもの居場所の数	628か所 (令和4年度)	800か所以上 (令和8年度)	826か所 (令和6年度)

1 ケアラー支援に関する令和7年度の取組実績について

指標① (行政におけるケアラー支援体制の構築)

	指標名	計画策定時の値	目標値	現状値
①	ワンストップ型総合相談窓口や複合課題を調整するチームの設置市町村数	51市町村(R5.4.1)	全市町村(R9.4.1)	全市町村(R8.4.1)

主な取組実績

■市町村へのアドバイザー派遣(実績:15市町24回)

各市町村の実情に応じた支援を行うため、引き続きアドバイザー派遣を実施(随時)

- ・派遣市町村数 15市町(川越市、行田市、秩父市、飯能市、東松山市、春日部市、深谷市、越谷市、朝霞市、志木市、新座市、日高市、吉川市、横瀬町、寄居町)

■研修会・情報交換会

①包括的支援体制・重層的支援体制整備事業説明会・情報交換会(実績:301名)

- ・内容:包括的支援体制の構築や重層事業の実施に当たっての理解促進や疑問解消を図るため、国講演や市町村実践報告、情報交換を実施

②重層的支援体制整備事業担当者情報交換会(実績:54名)

- ・内容:担当者のピアサポートや自治体間の横のつながり構築のため、悩み等を共有する意見交換を実施

③重層的支援体制整備事業委託研修(実績:122名)

- ・内容:関係者連携や地域づくり支援のため、県外も含めた先進自治体による講演や意見交換を実施



【アドバイザーによる講義】



【研修の様子】

1 ケアラー支援に関する令和7年度の取組実績について

指標②

(地域におけるケアラー支援体制の構築)

	指標名	計画策定時の値	目標値	現状値
②	介護者サロンを設置する市町村数	55市町村(R5.4.1)	全市町村(R9.4.1)	62市町村(R8.4.1)

主な取組実績

■介護者サロン設置・運営支援研修(実績:273名)

R6県作成の「介護者サロン設置・運営実践マニュアル」を活用

- ①ケアラーの実態、ケアラー支援の必要性、介護者サロンの必要性とその効果(基礎研修)
- ②介護者サロンの立上げ・運営のノウハウに関するグループワーク等(実践研修)

【研修の様子】

【研修資料】



2



3



8

1 ケアラー支援に関する令和7年度の取組実績について

指標③、④ (企業におけるケアラー支援体制の構築)

	指標名	計画策定時の値	目標値	現状値
③	地域包括支援センターの認知度(30～50代)	43.7%(R5)	70.0%(R8)	49.1%(R7)
④	ビジネスケアラーに関するセミナー等受講企業数	—	2,000企業(R6～R8の累計)	1,174企業 (R6～7年度の累計)

主な取組実績

■企業の経営者・人事労務担当者向けセミナー

○労働セミナー「仕事と介護の両立支援」、「働きながら介護をする人たち」(実績:628企業)

- ・内容:企業の人材確保や定着、持続的な成長のため、従業員の仕事と介護の両立を支援する具体的な手法を解説

○働き方改革セミナー「大介護時代」の職場づくり～企業が出来る介護離職防止策～(実績:141企業)

- ・内容:基調講演や先進企業による事例紹介、パネルディスカッションにより、従業員が安心して働き続けられる職場環境を整えるために企業が出来る具体的な取組を解説

■11月のケアラー月間における集中的な広報啓発

- ・市町村、金融機関、県有施設、埼玉高速鉄道駅などのサイネージで放映
- ・特別番組のテレビ放送、Tverにおける特別番組の放映
- ・県内22市町でのパネル展開催等



1 ケアラー支援に関する令和7年度の取組実績について

指標⑤ (ケアラーを支える人材育成)

	指標名	計画策定時の値	目標値	現状値
⑤	ケアラー支援を担う人材育成数	3,590人(R3～R5の累計)	6,000人(R3～R8の累計)	7,107人 (R3～R7年度の累計)

主な取組実績

■ケアラー支援関係機関向け研修(全6回 466名)

- ・対象:市町村職員、地域包括支援センター、障害者相談支援事業所、社会福祉協議会等
- ・内容:①ケアラー・ヤングケアラーの特徴、支援を行う上での課題、支援の目指すところなど(基礎研修)
②ケアラーアセスメントの意義・必要性・活用方法、ケアラー支援計画の作成など(実践研修)

■地域福祉活動者向け研修(全4回 216名)

- ・対象:主任児童委員、民生・児童委員、こどもの居場所運営者等
- ・内容:①ヤングケアラーの基本的な理解、気付くポイント、信頼関係の築き方②地域福祉活動者の実践報告
③ゲストスピーカー(元ヤングケアラー)による体験談
④気付く、見守り・声かけ・話を聴く、支援につながるを想定したロールプレイ



【地域福祉活動者向け研修】

■医療従事者向け研修(1, 103名)

- ・医療従事者や元ケアラーの方へのインタビュー等を通じ、支援のポイントを解説
- ・病院医療編と在宅医療編の2種類の動画を作成
- ・県の医師会、歯科医師会、看護協会、薬剤師会、訪問看護ステーション協会等の職能団体を通じ周知



【医療従事者向け研修】

1 ケアラー支援に関する令和7年度の取組実績について

指標⑥、⑦ (ヤングケアラー支援体制の構築・強化)

	指標名	計画策定時の値	目標値	現状値
⑥	ヤングケアラー支援のための教育・福祉合同研修の受講者数	1,078人(R3～R5の累計)	2,000人(R3～R8の累計)	1,778人(R3～R7の累計)
⑦	こどもの居場所の数	628か所(R4)	800か所以上(R8)	826か所(R6)

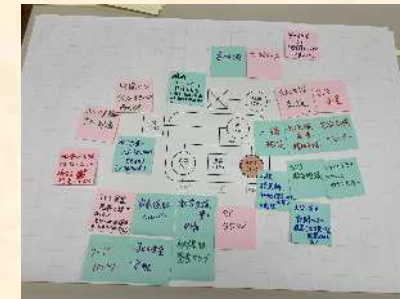
主な取組実績

■教育・福祉合同研修(全5回 339名)

- ・対象:学校の教員、市町村の福祉担当課の職員等
- ・内容:①ヤングケアラーの基本的な理解・支援体制づくりのポイント
②市町村ヤングケアラーコーディネーターによる実践報告
③学校におけるヤングケアラー支援
④地区ごとにグループを形成し、事例検討



【教育・福祉合同研修】



■こども・若者と共につくる居場所づくりの支援

○こどもの居場所フェア埼玉

- ・内容:こどもの居場所の認知拡大や潜在的な担い手の掘り起こしを目的に、こども食堂による飲食ブースやプレーパーク団体による屋内遊び場の提供、ステージイベントなどを実施
- ・実績:来場者数5,679名(R7)

○こどもの居場所づくりアドバイザー

- ・内容:各地域にアドバイザーを派遣し、こどもの居場所の新規立ち上げと継続的な運営を支援
- ・実績:派遣回数122回、新規立ち上げ件数23件(R7)



2 ヤングケアラー支援に係る取組について

法改正に伴う市町村における記名式等によるヤングケアラーの実態把握

1 ヤングケアラー支援の強化に係る法改正の経緯・施行について

○法改正までの背景

- ・ ヤングケアラーの支援に向けた福祉・介護・医療・教育の連携プロジェクトチーム報告（令和3年5月17日）により、関係機関が連携し、ヤングケアラーを早期に発見して適切な支援につなぐため、①早期発見・把握、②支援策の推進、③社会的認知度の向上が今後取り組むべき施策と設定された。
- ・ 国においては、令和4年度予算から順次、「ヤングケアラー支援体制強化事業」等により、地方自治体における実態調査、関係機関研修、支援体制構築等の取組推進を開始した。
- ・ しかし、ヤングケアラー支援に関する法制上の位置付けがないことに加え、地方自治体内において、誰が支援の実施主体として、どのような支援を行うかが明確でなく、地方自治体ごとに、取組の進捗状況や支援内容にばらつきがある。

○法改正の内容（公布日（令和6年6月12日）施行）

- ・ 「子ども・子育て支援法等の一部を改正する法律」において、子ども・若者育成支援推進法を改正し、「家族の介護その他の日常生活上の世話を過度に行っていると認められる子ども・若者」として、**国・地方公共団体等が各種支援に努めるべき対象にヤングケアラーを明記した。**
- ・ 法改正に係る施行通知の中で、具体的な支援のあり方として、**市町村において記名式等による実態把握をすることが重要**であると示された。

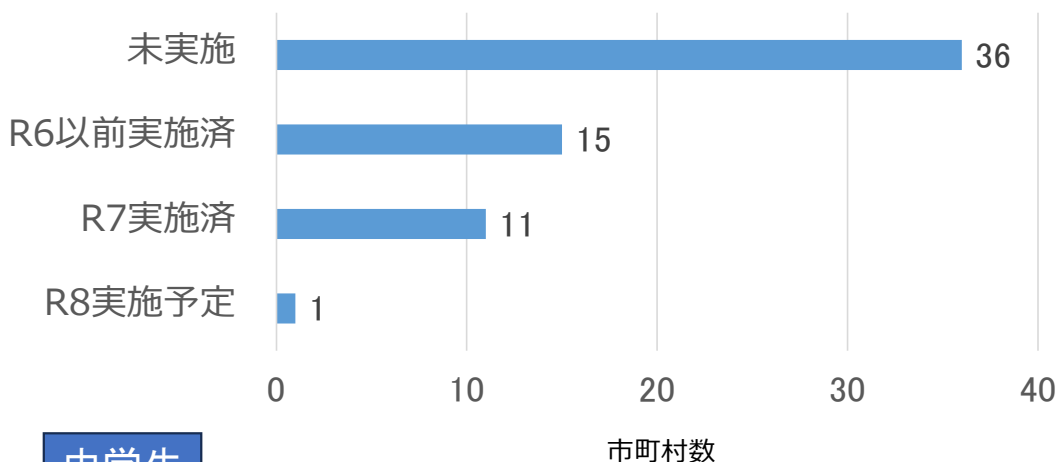
出典：ヤングケアラー支援の強化に係る法改正の経緯・施行について（法改正の経緯・概要/現状と課題/法改正に係る施行通知の概要）

法改正に伴う市町村における記名式等によるヤングケアラーの実態把握

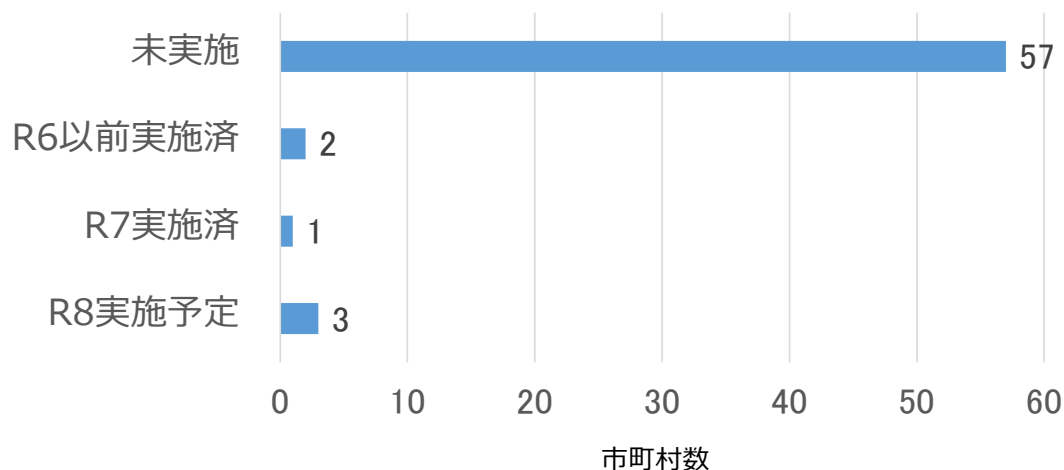
2 市町村の取組状況

- 小学生、中学生においては、**約1/2の市町村**で記名式等によるヤングケアラーの実態把握が少なくとも1回以上行われている。
- 一方で、高校生については、多くの市町村で未着手となっている。

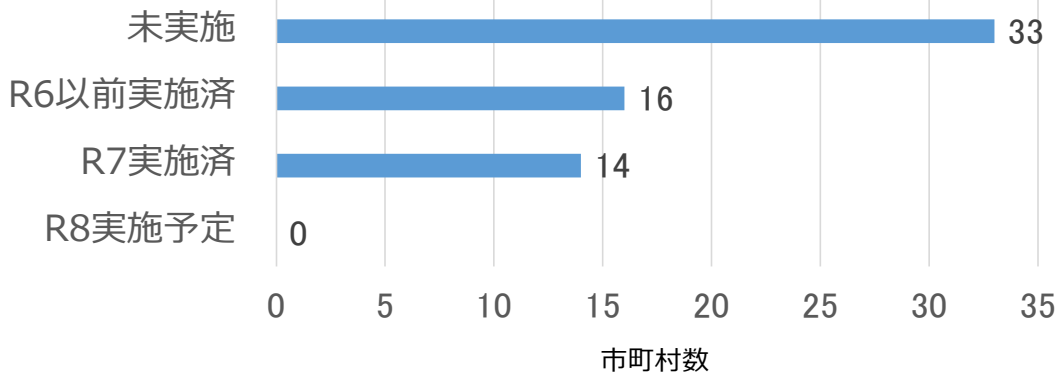
小学生



高校生



中学生



出典: ヤングケアラー実態調査の実施状況等について
(令和8年4月8日付け県から市町村への照会による調査)

法改正に伴う市町村における記名式等によるヤングケアラーの実態把握

3 実態調査を行う際に市町村が課題と感じていること

- 実態把握を行うための**予算の不足**及び人員不足がある。
- 実態把握を行うにあたり**教育部門との連携の仕方がわからない**。
- 支援を行う上では記名式が現実的だが、実際に調査にてヤングケアラーを把握したあとの**学校による支援や関係機関へのつなぎ**の見通しが立っていない。
- こども自身にヤングケアラーの自覚がないことが多いため、質問項目を作成することについての困難さを感じた。実態把握前に**正確なヤングケアラーの概念を理解してもらうことに困難**を感じた。
- 家族の**プライバシーへの介入**になる恐れがあり躊躇している。
- **学級活動の中でアンケート実施の時間を設ければ回収率は上がる**が、該当者を拾い出すには、家庭等自分の時間でゆっくり回答してもらう方法が良いと考える。しかし**家庭等で回答してもらう方法では回収率が下がる**ことが懸念され、調査の実施方法については悩みどころである。

出典:ヤングケアラー実態調査の実施状況等について
(令和8年4月8日付け県から市町村への照会による調査)

4 今後の県の支援について

- 実態把握を行うにあたり、**ヤングケアラー支援体制強化事業における実態調査・把握への補助金**（国:2/3 ,市町村:1/3）を国が用意しているため、その活用を市町村へ呼びかける。また、その際、実績があり実態把握のノウハウを有する事業者へ円滑に、業務委託を行えるよう、**県内外の市町村の取組事例等を共有**する。
- 教育部門との連携の仕方がわからないがゆえに、実態把握が進まないという市町村に対しては、**県教育局と連携しながら**、必要に応じて、適時、助言を行う。

3 第3期埼玉県ケアラー支援計画について

3 第3期埼玉県ケアラー支援計画について

1 スケジュールの変更について

日時	実施事項	内容
R8.5	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回有識者会議 ・調査① 	<ul style="list-style-type: none"> ・施策の体系・数値目標の方向性について ・ケアラーに関する意識調査（一般県民向け、支援機関向け）
R8.8	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回有識者会議 	<ul style="list-style-type: none"> ・第3期埼玉県ケアラー支援計画(たたき台) ・調査②について
R8.9	<ul style="list-style-type: none"> ・調査② ・庁内連絡会議 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業の仕事と介護の両立支援に係る取組状況調査 ・庁内でのスケジュール共有、施策内容の照会等
R8.11	<ul style="list-style-type: none"> ・第3回有識者会議 	<ul style="list-style-type: none"> ・第3期埼玉県ケアラー支援計画(素案)について ・調査③について
R8.12	<ul style="list-style-type: none"> ・調査③ 	<ul style="list-style-type: none"> ・県政サポーターアンケート（ケアラー及びヤングケアラーについて）の実施
R9.1~2	<ul style="list-style-type: none"> ・県民コメント 	
R9.2	<ul style="list-style-type: none"> ・第4回有識者会議 	<ul style="list-style-type: none"> ・県民コメントの結果について ・第3期埼玉県ケアラー支援計画(案)について
R9.3	<ul style="list-style-type: none"> ・議会報告・知事決裁 	

3 第3期埼玉県ケアラー支援計画について

2 ケアラーに関する意識調査

第3期埼玉県ケアラー支援計画策定などの参考とするため、一般県民及び支援機関向けの意識調査を実施している。

【概要（一般県民向け）】

- 対象：埼玉県内に在住・在勤・在学の方
- 回答期間：令和8年5月15日（金）～令和8年6月12日（金）
- 回答方法：無記名式アンケート
- 質問項目
 - ・属性（年代、職業、性別、ケアラー経験の有無）
 - ・ケアラー、ヤングケアラーの内容を含めた認知度
 - ・介護に備えた準備の状況と「なし」の場合の理由
 - ・ケアラー月間の認知度
 - ・ケアラーとなった場合の相談先
 - ・介護保険制度の認知度
 - ・ケアラー・ヤングケアラー支援体制が整っていると感じるか
 - ・介護者サロンの認知度
 - ・企業等において仕事と介護の両立支援体制が整っていると感じるか

3 第3期埼玉県ケアラー支援計画について

2 ケアラーに関する意識調査

【概要（支援機関向け）】

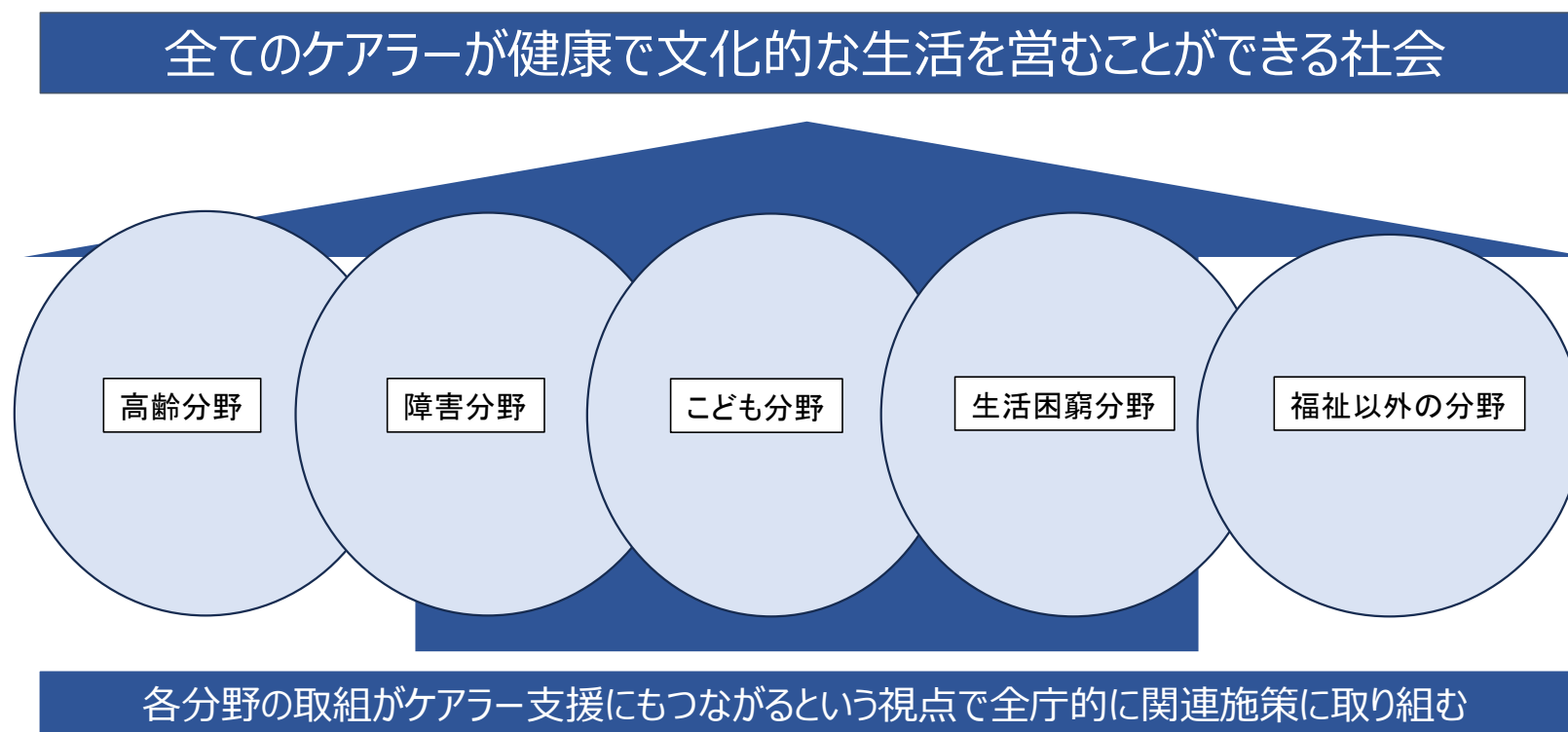
- 対象：日頃から埼玉県内におけるケアラー支援に携わっている方
（各市町村高齢者福祉担当、障害福祉担当、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、介護サービス事業所、障害者相談支援事業所、障害児（者）施設・事業所、社会福祉協議会、民間支援団体等の職員）
- 回答期間：令和8年5月15日（金）～令和8年6月12日（金）
- 回答方法：無記名式アンケート
- 質問項目
 - ・地域包括支援センターの認知度の感じ方
 - ・介護について、家族だけで抱えこまずに相談していいという機運の醸成されていると思うか
 - ・自ら声を上げられないケアラーを救い上げる体制ができているか
 - ・地域の支援団体等の情報について、把握しているか
 - ・ワーキングケアラーに対する声掛けについて
 - ・ケアラー・ヤングケアラー支援に関する研修について
 - ・民間企業との連携について
 - ・普段聞いているケアラーのニーズについて

3 第3期埼玉県ケアラー支援計画について

3 第3期計画策定の基本方針

○「全てのケアラーが個人として尊重され、健康で文化的な生活を営むことができる社会の実現」という県ケアラー支援条例における基本理念の実現を目指し、第2期までの取組成果を踏まえ、更なるケアラー支援の充実につながるよう、施策を発展、推進していけるよう計画にまとめていく。

【施策を展開、推進のイメージ図】



3 第3期埼玉県ケアラー支援計画について

4 現行の基本目標と第2期までを踏まえた課題

基本目標	課題
1 ケアラーを支えるための広報啓発の推進	・ケアラー、ヤングケアラーというキーワードは広く認知されたが、今後は言葉だけでなく、実態も含め、県民が広く認知し、県民の誰もが当事者になる可能性があることを踏まえて理解を深めていくことが必要
2 行政におけるケアラー支援体制の構築	・県内全市町村において相談の受け入れ体制は整備された ・ケアラーもケアの対象者も多様な課題を抱えた中で今後は、自ら相談に至れない複雑化・複合化した課題を行政が拾い上げ、支援につなげていき、包括的な支援体制の構築を図っていくことが必要
3 地域におけるケアラー支援体制の構築	・介護者サロンを設置する市町村は62となり、概ね各市町村への設置がなされた ・民間企業など多様な主体による地域の見守り体制・地域住民同士の助け合いが推進されるよう拡充を図ることが必要
4 企業におけるケアラー支援体制の構築	・働き世代の地域包括支援センターの認知度が低い ・企業側の理解を進め、仕事と介護の両立が図れるような働きやすい就労環境づくりを支援し、ケアラーへの支援体制が整備されている企業、事業所の増加に繋げていく
5 ケアラーを支える人材の育成	・R8末には累計で指標達成見込みだが、介護に関わる人材数を鑑みれば、まだ道半ばであり、更なる育成を進めることが必要
6 ヤングケアラー支援体制の構築・強化	・ヤングケアラーの支援体制の構築がなされることを前提に、具体的な支援を推進していくこと、大人への移行期への支援も必要

3 第3期埼玉県ケアラー支援計画について

5 基本目標、施策、個別項目

基本目標	施策	個別項目
1 ケアラーを支えるための広報啓発の 更なる推進	ケアラーに関する啓発活動の 充実	
2 行政におけるケアラー支援体制の 推進	1 包括的な支援体制の構築	市町村における ケアラー支援体制の構築
		認知症の方や高齢の方をケアするケアラーへの支援
	2 多様なケアラーへの支援	障害者の方をケアするケアラーへの支援
		高次脳機能障害の方をケアするケアラーへの支援
		医療的ケアを必要とする児童をケアするケアラーへの支援
		小児慢性特定疾病児童をケアするケアラーへの支援
		難病患者をケアするケアラーへの支援
	3 子育てしながら介護を担うダブルケアへの支援	
4 ケアラーの生活支援		

3 第3期埼玉県ケアラー支援計画について

基本目標	施策	個別項目
3 地域におけるケアラー支援体制の構築	1 ケアラーが孤立しない地域づくり	
	2 地域の見守り体制・地域住民同士の助け合いの拡充	民生委員・児童委員の活動支援 地域の支え合いの取組、NPO・ボランティア団体・自治会の地域活動への支援、 民間企業との連携
4 企業におけるケアラー支援体制の構築	1 ワーキング ケアラーの仕事と介護の両立支援の推進	
5 ケアラーを支える人の育成の 更なる推進	1 ケアラー支援の対応能力向上・連携強化	
	2 ケアラー支援を担う県民の育成の 推進	
6 ヤングケアラー支援の 推進	1 学校におけるヤングケアラー支援体制の 推進	
	2 行政・地域におけるヤングケアラー支援体制の 推進	
	3 大人への移行期支援	

3 第3期埼玉県ケアラー支援計画について

6 第3期計画の指標方針案

指標	現状値
基本目標 1 地域包括支援センターの認知度(30～50代)【基本目標 4 から移動】	49.1% (令和7年度)
基本目標 2 複雑化・複合化した課題に対し、アウトリーチの取組を行っている市町村数【新設】	—
基本目標 3 地域福祉活動者向け研修の人材育成数 【基本目標 5 の指標の一部を単独指標に】	1,151人 (令和7年度)
基本目標 4 ワーキングケアラーに関するセミナー等受講企業数【継続】	1,174企業 (令和7年度)
基本目標 5 ケアラー支援を担う人材育成数【継続】	6,891人 (令和3～7年度累計)
基本目標 6 ヤングケアラー支援のための教育・福祉合同研修の受講者数【継続】	1,778人 (令和3～7年度累計)